役員と会則も決る
〝教福研〟いよいよ発足

財団法人全国修学旅行研究協会（理事長山本種一氏）の提唱により、高齢化社会の進行とうらはらに、福祉の後退がいわれる社会情勢のなかで、教職員が明日への教育の活力を満たし、元気回復を求めていくための教職員福祉の向上を推進するため、全国の教育福祉団体の中堅幹部を糾合して結成された教職員福祉問題研究会の役員が、去る十一月二十日開催された代表世話人会で別記のとおり選任され、同時に会則の審議決定も行なわれ、全修協本部にその事務局をおいて、いよいよ本格的活動に入ることとなった。役員は次のとおり。（敬称略）

〈相談役〉山本種一（全修協理事長）・〈会長〉西尾能信（滋賀県）・〈副会長〉鈴木春之助（東京都）・神代義秀（大阪府）
〈常任幹事〉明賀猛（京都府）・前田寛（全修協）〈監査〉橋厳（石川県）・全修協〈幹事〉長野猛彦（福島県）・鱒田市之助（千葉県）・小倉信治（富山県）・菅原孝（静岡県）・大野良兵（山口県）

58年度の輸送計画
関修委で決定

関修委の現地研修会（京都の仁和寺で）

【関東支局】十一月十二日、十三日、関修委第四回運営委員会が群馬県水上町において開催され、埼玉、茨城、千葉、栃木、群馬五県の五十八年度公立中学校関西修学旅行、新幹線利用の計画案を検討の上、決定した。出席者は各県代表の関修委運営委員十九名と、全修協の藤田庶務部長と西沢調査研究部長の二名が加わった。

各県の修学旅行委員会の委員長並びに委員は、県下各中学校長からの新幹線利用の申し込みを受付け県下の計画案の作成と調整の事前準備に、多大の労苦を注いで来られた。

八月十三日、国鉄から、関修委をはじめ、中学校修学旅行の関係諸団体に対し、昭和五十八年度新幹線輸送計画案の大綱について説明が行われた。関修委としては高橋運営委員長、全修協からは藤田庶務部長、西沢調査研究部長が出席し、特に生徒急増に伴う輸送の始期、終期に適正を欠く問題、割引率引下げ案の問題などについて特段の配慮をするよう切望した。

九月四日、第三回運営委員会は教弘会館で開催、五十八年度修学旅行輸送計画立案について、国鉄担当者も出席し、各県のA・B・Cの三コース希望の人員、AよりBに移る各県の人員、計画立案の手順等について、慎重に審議され、関修委として、輸送計画立案の重要事項が決定された。

このような経過を経て、第四回運営委員会開催の運びとなったが当日、飯村事務局長（水戸三中）開会のあいさつに続いて、高橋運営委員長（鳩ヶ谷中）司会のもとに、審議を重ね、五十八年度輸送計画案を成立させることができた。

連絡報告事項として、三地区代表者会議と、関修委関西修学旅行現地研修会の件が了承され、特に各県修学旅行委員会の委員長や対策部長から、それぞれの県が抱えている問題点の克服や悩みについて報告がなされた。その主な点は多くの県が往復とも、学校と上野駅間のつなぎ電車の輸送困難な国鉄の状況に悩んでいることであった。

北海道へどうぞ
道観連が修旅誘致

社団法人北海道観光連盟（会長中原哲男氏）主催による北海道への修学旅行誘致懇談会が十一月十一日（大阪）、十一月十三日（東京）それぞれ開かれた。

ここ数年来、北海道への一般観光客の減少傾向が目立ってきているが、修学旅行についても同様のきざしが出始めているため、私立高校の修学旅行担当の先生に、北海道の修学旅行地としての現状を理解してもらい、また学校からの要望などをきいて、うけ入れ態勢の改善を行い、修学旅行誘致に役立てようというもの。

教職員研修旅行のメインコースとして二十五年来、年々二千名以上の全国の教職員を送り出している全修協が、道観連の要請をうけてこの催しを後援し、大阪の会合には曽田大阪事務所長、東京では前田事務局長が出席して、学校側からの意見や要望事項をバックアップする形での指導助言を行った。特に前田事務局長は「北海道への旅行者の減少の最大の原因は道内各地におけるサービス低下にある。今後、旅館その他うけ入れに際しての接遇改善がなされない限り、この傾向は好転しないだろう」との苦言も呈せられ、道観連側から「旅館経営者の心構えが肝要であり、帰道のうえ、その再教育に熱意をもってとり組む」との意志表示があるなど、活発な意見の交換が行われた。主な意見は次のとおり。

学校側から―。

☆札幌で自主研修をとり入れたが、それほどの成果がなかった。人間ふれ合いのできるような体験学習がしたい。

☆内地にはない広大な自然や素朴な人情など、修学旅行地としての魅力は充分にある。うけ入れに当っての熱意がほしい。

☆北海道は余りにも広い。地域別に焦点の絞れるモデルコースがほしい。

☆飛行機利用の場合には、搭乗便の確定が出発一カ月前にならないと決らい。計画的な教育日程を作る上で困る。

☆遠隔地のため費用が多くかかることになる。私立校といえども限度があるので、航空運賃の特別割引き、宿泊費の特別措置などのサービスがほしい。

道側から―。

☆体験学習について、上士幌町では町営牧場を開放しての体験学習、白老町では木彫り民芸の作製体験（所要一時間）を実施している。

☆全日空では、飛行機利用校が急増しているので、これへの対応を検討している。

☆大沼公園では、一棟四名定員のコテージ一一〇棟を利用しての独特のグループ生活体験がしてもらえる。

☆川湯では、町民が案内役となって早朝散歩をしてもらい、ふれ合いの旅を味わってもらっている。

☆施設、設備のたち遅れや、サービス向上については、本日出席の各地区関係者が帰道のうえ、早急に改善策を検討実現を図っていく。

☆修学旅行生をリピーターとして考え、そのうけ入れを大事にしていきたい。

まとめとして、道観連専務理事二口栄蔵氏から「北海道は、日本の食糧基地、レクリエーション基地、新しい工業発展の基地、北方開発の拠点など、将来への総合発展をめざして努力している。修学旅行についても、これらの要素を背景に、教育内容の高いよい旅行ができるものと自負している。本日のご要望に沿うようい っそう邁進していくので今後のご指導ご支援をお願いしたい」旨の挨拶があって閉会した。

現地研修の会
関修委・岡山へ

【関東支局】関修委（鯉渕一郎会長）の本年度関西方面現地研修会は十二月三日から二泊三日間行われた。ことしは従来の京都、奈良のほか岡山まで新しい修学旅行地を求めた。関東五県の中学校長ら二十七名に全修協から西沢調査研究部長も参加した。

岡山県で行われた関係機関との懇談会には岡山県観光物産課長藤井順平氏のほか岡山市、倉敷市、備前市の各観光課長、バス会社、旅館などの代表者が出席、学校側と意見の交換を行った。

学校側は①新幹線を利用しても関東各県の中学校には日程に無理がある②大規模校を収容できる旅館があるか、などの意見や質問がでた。

高田治郎、完戸一郎両理事に叙勲

高田治郎氏

完戸一郎氏

全修協の理事・北海道支部長、高田治郎氏と同・山形県支部長、完戸一郎氏は今秋の叙勲でそれぞれ輝く栄誉をうけた。

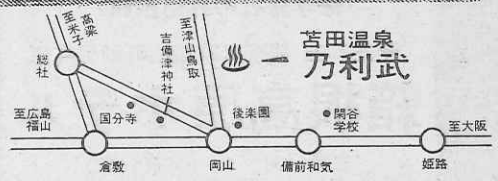
高田治郎氏は北海道議会議員として長年の地方自治への功労により、勲四等瑞宝章を、また完戸一郎氏は山形県議会議員として、同じく地方自治への功労として勲四等旭日小綬章を受章した。

協会役員が春の叙勲で常務理事成瀬幡治氏（愛知県）と同じく村山助雄氏（福岡県）に引き続いて叙勲の栄をうけられたことは、まことに喜びにたえない。

山陽路 岡山のお宿

10,000坪の庭園を擁し、おもちつき、また、ファイアーストームを囲んでのフォークダンスなど、楽しいリクリエーションタイムをご用意して、皆様方をお待ち申し上げております。(500名可能)

昼食休憩・ガーデンパーティーもご予約を承わります。



■岡山駅より車で15分・バス25分。■中国自動車道、津山インターより45分。

政府登録国際観光旅館
とまだ苫田温泉 乃利武
〒701－11　岡山市桑谷1453
☎086294－2321　TELEX. 5922－621

育てる心は、みんな同じ。

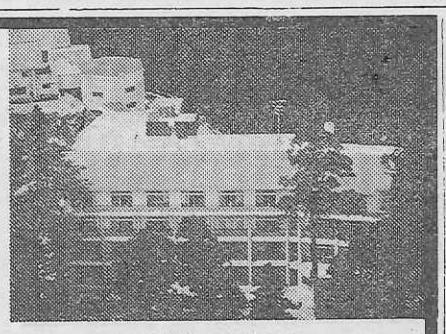
●営業時間
9:00～17:00（3月16日～11月15日）
9:30～16:00（11月16日～3月15日）
●修学旅行料金　高校生 1,000円
中学生 700円、小学生 600円

別府あじむ草原
アフリカンサファリ
〒872-07 大分県宇佐郡安心院町大字南畑
☎（09784）8－2 3 3 1（代）

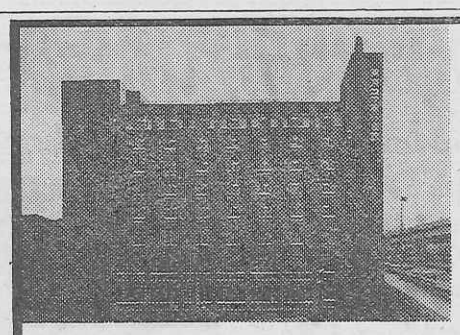
修学旅行のお宿に
全館を開放

■延暦寺会館本館
■別館比叡
■延暦寺会館第1別館 〈収容600名様〉
■延暦寺会館第2別館

☆素晴らしい琵琶湖の夜景
☆根本中堂で早朝の座禅
☆スッキリした気分で次のコースへ
☆頭のよくなる精進料理
☆夜間は講話や映画上映を無料でご奉仕



〈国際観光旅館〉
比叡山 延暦寺会館
TEL　0775－78－0047・0554
TELEX　5464－917



東京コマ旅行会館は
第8回優秀防火建築表彰で
建設大臣賞を受賞いたしました。
東京でのお泊りは
安全設備を誇る当会館へ。

東京タワー、国会議事堂を間近かに望む東京の中心にあり、8階建の近代ビルで、修学旅行の皆様に、より有意義な旅行をしていただくために、清潔で低廉に、しかも最新の設備をほどこした全館和室の観光旅館です。

ホテル〈全館和室〉
東京都港区六本木1丁目7番地
TEL (03)585－1046(代表)

東京 コマ旅行会館

わが故郷・交野市

〈1〉

古文化伝える町

曽田震五

交野市（かたのし）は大阪府の北、京都に近い枚方市の東に隣接する小衛星都市である。

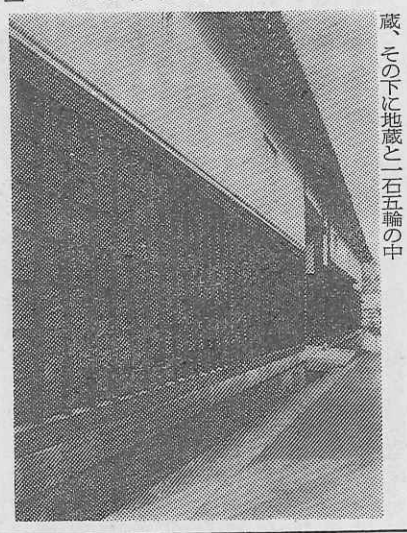
私は現職最後の五年間この市の一中学校に奉職した。校舎の窓から朝夕眺める交野山とその山並、山麓と平野地に拡がる古墳遺跡や史跡に恵まれた小田園都市、人口六万二千、環境と素朴な民情にひかされて骨を埋めようと思うほど自然と文化と人が巧みに調和しているところである。市の中心地区に私部、倉治、少し離れて星田の旧集落がある。その周辺には近年新住宅が分散している。北河内近隣都市の人口急増過密現象に前者の轍をふまず、市は条例で人口、地域を規制、教育文化都市としての面目を保っている。特に古文化の発掘発見には市も力を入れ、その推進役は奥野平次氏である。私の学校でも毎年社会科一年の郷土の単元には同氏を招き、交野の先進文化の概要を楽しく語ってもらっている。今なお発掘される古墳遺跡を求めて歌の文句じゃないけれど、「下を向いて歩こう」を合い言葉に小、中学生がしばしば古墳の土器など発見している。地元の子どもに先進文化の地としての交野にプライドをもつよう教えている。当市は大阪府北河内のベッドタウンといわれるだけに、山あり、川あり、緑ありで私市方面ハイキングコースがいくつかあって、日曜、祭日ともなれば家族連れが押しかける。

交野山、山並のすそに拡がる交野ケ原はその昔、枕草子に「野は交野…」とあり、交野ケ原の美しさをほめている。また大平記にも「落花の雪に踏み迷う、片野の春の桜狩り…」としるされ、古来から桜の名所であったが、終戦直後デマにおどされ、一万本の銘木を切ったといわれる。今の桜は戦後の若木である。「宿からん交野のみ野の狩衣、ひも暮れの櫓の下かげ」と後鳥羽上皇はうたわれ、平安朝の貴族は鳥羽から船で淀川を下り、枚方渚にあがり交野ケ原の紅葉狩りを楽んだという。大宮人の交野ケ原、天の川をよんだ詩歌は数多くある。「天の川秋のひと夜の契りだに、かた野に鹿の音をや啼くらん」（藤原家隆）と歌によまれているようにシカ、キジが多く狩猟の地としても知られていた。

市の東北神宮寺の東にある神宮寺遺跡（先土器縄文）は二万年～七千年（石器時代～土器時代）の間、先住民族の遺跡の地で旧石器の尖頭器が出土、「鍬を入れると遺跡にあたる」といわれるほどの近畿最古の文化発祥の地と推定される。

ここから真北に行くと倉治の機物神社がある。棚桟姫（はたおりひめ）大神を祝る。弘法大師が獅子窟寺で修業の際、天の七曜星が星田村に降ったといわれ、星田妙見のご神体は山上二個の巨岩である。河内名所図会にも「例年七月七日祭礼の時童男一人を選んで祭守主とし、はなはだしく汚穢不浄を禁ずることを重要とする」とあり、いまも七夕祭の行事が行われている。神社の創建は平安初期、桓武天皇（七八一―八〇五）の当時、日月星辰の運行や自然現象を観測して人間の運命を占う陰陽道が盛ん、北斗星を祭る祭壇をしつらえ、棧物神社の神を織女星とした記録がある。また織田信長、秀吉、光秀の下知状など約二十点もある。（交野町史による）

王の墓のあるところ百恵（ももえ）が原という。南朝御村上天皇の嫡子長慶院は十六年間在位したが、南北朝の政争のため諸所に身をかくし交野の獅子窟寺にたどりついたところ、河内寺護職畠山基同の討手におそわれ、四十九歳で崩去されたという。王の墓付近には椎の大木が茂り、ひっそりとした繁みの裏山の尾根の続きに椿地蔵、その下に地蔵と二石五輪の中世の墓が静まっている。



獅子窟寺は山の中腹にあり、奈良時代行基の開創した高野山真言宗の寺である。金山カコウ岩の空洞、巨岩がその名の由来である。秋葉山窟あとの北の尾根を上ると四㍍五〇㌢の巨岩の男石、その下に金剛般若窟の女の石がある。この窟の奥で弘法大師が修業されたといわれ、大師の小さい石像がある。

＝つづく＝（全修協・大阪事務所長）

私部（きさべ）集落の旧代官屋敷の土塀と正面玄関（筆者うつす）

全修協グリーンツアー同行記

〔2〕

湖と青い大空の交錯

藤田勝次郎

目を下に移すと今夜の宿がある休屋の集落が見え、港には十和田湖遊覧船が、一日の仕事を終え、真白な船体を桟橋に横づけている。夕やみが湖面にかかる。明日の湖面遊覧を楽しみに、後髪を引かれる思いで展望台を降りる。バスは今夜の宿の休屋へと下る。

旅程第二日目、今日の天気はどうかと心配で急いで窓をあけ外を見る。素晴らしい日本晴の好楽日和である。お互いによい天気は恵まれた好運を喜びあう。心配した病人もなく、みな元気に朝食をとる。船が出るのが十時四五分なので、九時半から十和田神社と十和田湖のシンボル、高村光太郎作の「乙女の像」の見学に出かける。像のまわりは紅葉のシーズンの遊覧客で一っぱいである。新婚のカップルも見かけるが、やはり老人の団体客が多い。朝日をうけて外輪山の木々の紅葉は一そう鮮かである。

十時半に乗船して、湖水を渡る。船は白く塗った双胴船の第一十和田丸、定員三〇〇名を乗せて定刻に出航する。先ず乙女の像の御前が浜の近くを通って中山半島をまわる。長年の風雪に耐えた盆栽のように美しい松、まわりに赤や黄色の樹木を従えた姿は一幅の名画である。大町桂月が名づけた島や木々の名称が若いガイド嬢の美声で紹介される。水は明治の歌人九條武子夫人の詠んだ「浪扞の玉をとかしてまだ足らずなにを秘めたるやこの湖の色」の如く、きれいなブルーである。

午後は奥入瀬渓流の探勝である。普通のコースは、渓流を下から上へ登るのであるが、われわれは上流から下流へとくだった。銚子大滝でバスを降り、渓流に沿って作られた遊歩道を歩む。湖畔の紅葉に対して、ここの紅葉はまだ時期が少し早く、緑が多い。このあたりは瀑布街道と名づけられているように実に滝が多い。両側の岩山から双白髪の滝・不老の滝、白糸の滝、玉簾の滝など、桂月によってつけられた名称そのままの形の滝が、木の間から眺められる。水の流れは万両の流れ、白絹の流れ、飛金の流れと変化する。ゆっくりとしたいが、時間に限りがあるので天狗岩でバスに乗り車中から眺める。ここの眺めは春の若葉、夏の青葉もよいが、紅葉を水に浮かべて流れる秋の眺めは一そう風情があり、天下の名勝に恥じない景観である。

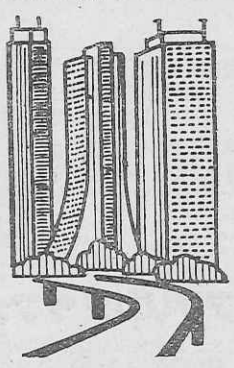
車は焼山から八甲田のコースへ入る。ブナの原生林の黄葉の道を走るとやがて蔦温泉である。ここには十和田湖を天下に紹介した大町桂月の居住跡や墓がある。南八甲田と北八甲田の間の道を進むと酸ケ湯温泉である。さらに進むと八甲田ロープウェイ入口につく。ここでバスを降り、田茂萢（たもやち）岳（一三三四㍍）の山頂にかけられたロープウェイに乗る。ゴンドラは一〇一人乗り、二、四五九米を一〇分で登る。山頂からの眺めは実に雄大で、八甲田の山々が手にとるように見え、ブナの原生林の黄葉がまっさかりであった。遠くには青森市や陸奥湾、津軽富士の岩木山も見える。あいにく天候が激変して風雨が強くなり早々に下山する。再びバスに乗って、八甲田雪中行軍遭難の後藤伍長記念像を訪れる。明治三十五年一月、青森歩兵第五連隊二一〇名が雪中行軍で遭難し、生存わずか十一名を残したのみで、全員凍死するという悲劇が起きたところである。一昨年映画やテレビで放映され、一段と身近かに感じていただけに感慨深いものがあった。

帰りは、ブルー・トレーンゆうづる六号で、一九時一五分青森駅をたつ。身体を横にして、三日間の旅のことを思い出している間に旅の疲れで眠ってしまう。翌朝六時〇分、電車は定刻通り上野駅につく。お互いにこれからも健康に留意して、次の旅の再会を約して旅行団を解いた。

（全修協・庶務部長藤田勝次郎）

乙女の像前で（藤田庶務部長うつす）

首都東京を見て、何かを！



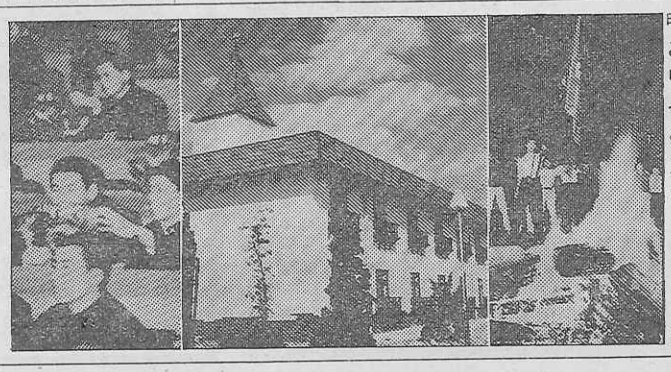
学校単位の貸切りで
ご利用下さい
30年の経験を生かす 50旅館 8000名収容
本郷の旅館へ
本郷旅館協同組合
〒113 東京都文京区本郷4―36―3 TEL 03―813―9381

眼下に芦の湖、ひろがる湖尻高原。
静寂のなかに憩いのひととき―。

〈修学旅行の専用旅館〉
〒250-05 神奈川県箱根町湖尻高原
箱根高原ホテル
電話0460－4－8595(代表)

チロル風のホテルは仲良し8人が一緒です。
集団生活の安全管理と宿泊の生徒さんの自主管理の両面から入念に設計された《スズカビレッジ》
●全館冷暖房完備
●防火優秀ホテルとして消防庁長官賞受賞

2人で1台実物のエンジンを分解・組立てる
250名収容のテクニカルホールの生きた科学教育。
空へ、水へ、緑の中へ…自分でハンドルを握る〝ゆうえんち〟。
国際レーシングコースを走るレーサー気分も……
そして陽の落ちた広場でファイアーストームを囲んで
校歌を歌うひととき――
チロル風ビレッジの一夜、翌朝伊勢湾から昇る朝日も
忘れがたいもの、どれを取っても
学生生活を刻んだキラリと光るひとコマです。



昨年一年間で11万人もの学生さんが
この思い出深い修学旅行を体験しています
「人と科学と自然の接点」
今年の修学旅行こそスズカを加えた
《新近畿ルート》をご検討ください。
スズカから京・奈良・伊勢・志摩へも2時間の距離
未来と過去を結ぶ理想の修学旅行コースです。
陽気なビッグ・レジャーランド
鈴鹿サーキット　三重県鈴鹿市稲生町
電話＝0593〈78〉1111
株式会社ホンダランド
本社：東京都中央区八重洲2-6-20 ☎03〈274〉5821
大阪営業所：大阪市北区芝田町2-1-1 ☎06〈372〉1526